

平成30年度 第2回教育行政評価委員会 会議録

開催日時：平成30年10月1日（月）13:15分～15時45分

開催場所：大山田農村環境改善センター 2階 小会議室

出席者：委員5名（岡山委員欠席）

事務局：谷口副教育長、中林教育委員会事務局次長、谷口教育総務課長
中教育総務課副参事、児玉教育総務課主査

1 あいさつ

*藤本委員長

*配布資料の確認・欠席委員の報告、委員会成立報告

2 第1回評価委員会の会議概要について

*【資料1：第1回教育行政評価委員会・会議録】の確認

3 協議事項

（1）平成29年度事務事業に係る評価・意見等について

*評価・意見等の整理案 【資料2】 【資料3】

『個別評価等の協議・調整』

会議に先立って提出された評価、意見（資料2、資料3）について協議調整。

（委員会での主な意見）

【生涯学習課】

（成人式開催経費）

*成人式に参加できなかった人や中学校区で気になるのは、その中学校に行かなかった人について気になっている。

（生涯学習推進啓発事業）

*それぞれの地域において取組みに格差が生じているが、「地域における学びのワークショップ」など交流事業の実施により地域の取組みが共有できた。参加者の自己満足や既成の枠にとどまらず、これからやろうとする人や、若い人たちが積極的に関わられるような幅広い市民参加と、新しい活動につなげられるよう参加しやすい事業の工夫や効果的な実施が望まれる。

（同和教育研究推進事業）（同和問題啓発事業）

*同和教育研究推進事業、同和問題啓発事業にかかわり県民・市民意識調査で明らかにされている「学び」が人権意識の向上に大きく影響している旨を説明に入れる。

（青少年センター運営経費）

*事象発生（怪しい人が出そうな状況など）事例など関係機関との情報共有を行い、補導、下校パトロールの日程調整等有効的な実施対応が必用だと思う。

（青少年健全育成事業）

*一人一人の子どもを「社会の子」として育てるという表現で、地域社会の子どもとして守る取り組みが必要だと感じている。

(公民館事業)

- *自治協議会との連携や、市民センターを活用した講座、教室等の活動に温度差があるように感じる。

(人権同和教育の推進)

- *地区学習会、高校生友の会などへの参加率について確認したい。
- *県内でも伊賀市は積極的な人権教育が行われていると思っているが、生活実態調査の中で被差別体験に無回答の率が高かったことについて、しっかりと施策が必要な人に届いているのか伊賀市の取り組みの課題を感じる。
- *自己啓発も含めて啓発は、いくら問題解決に近づいたとしても、それで終わりではなく人の心に潜むものとして絶えず掘り起こしながら問い直すという意味での研修会や取り組みが必要だと感じている。

【図書館】

(図書館管理経費)

- *古文書は普通の人あまり読まないが、そこを充実させることは、図書館に行けば古文書が充実しているという特色を出せば逆に魅力につながる。古文書に親しみ易くし、古文書を生かす有効的な活用が望まれる。

【学校教育課】

(地域とともに学校マニフェスト推進事業)

- *子どもたちの集団生活においては学校教育にお任せという感じがする。学校の取り組みとともに、地域に対する行政からの意識啓発が必用ではないか。

(教職員研究研修経費)

- *教職員の授業力、指導力を磨く部会研究、発表などの機会づくりへの対応が必要。

(人権同和教育推進事業)

- *学校が発信源となった取り組みの継続が必要。

(生徒指導推進事業)

- *経費は掛かるがQ-U調査は継続する必要がある。見えてくる課題は地域との連携による相談体制を充実させることが大切。

(特別支援教育充実事業)

- *コーディネーターを中心に据え事業の有効的な活用を。

【教育総務課】

(学校(園)施設の整備充)

- *新旧の施設で学校間に環境格差があるため継続した環境整備が必要。

【文化財課】

(文化財保存経費)(文化財施設維持管理経費)

- *観光客の多いところだけではなく、多言語でなくても英語等の説明表示の充

実が必要。

(2) 今後の予定について（第2回評価委員会以降の業務スケジュール）

10月 1日(月) 第2回教育行政評価委員会

*個別評価等の調整・協議



10月 中旬 評価結果報告書（案）事前送付



10月末から11月 第3回教育行政評価委員会

*評価結果報告書（案）について、修正箇所等を協議

11月 上旬 教育委員会に「平成30年度評価報告書」提出

4 その他

*次回開催日：10月29日(月) 午後1時15分

閉 会